

※ 8月9日に八代河川国道事務所ホームページにて公開を行いました「球磨川水系に関するよくあるご質問（FAQ）」に掲載しておりました「Q6 人吉大橋に設置している「危機管理型水位計」は、令和2年7月豪雨時においても計測できていたのでしょうか。」につきまして、水位を連続的に観測できていた状況や洪水痕跡から、「水位計が水没している状況ではなかった」など、推測し表現している記述がありましたが、表現に係るご指摘をいただいたことから、事実関係に基づく表現に適正化しました。

あわせて、今回、人吉大橋の危機管理型水位計に関して、水位観測の仕組みや洪水痕跡水位の調査状況、令和2年7月豪雨後の水位計の更新や点検の状況について、FAQを追加し充実を図っておりますので、ご確認ください。

Q6. 人吉大橋に設置している「危機管理型水位計」は、令和2年7月豪雨時においても計測できていたのでしょうか。

○ 人吉大橋に設置している危機管理型水位計の計測については、以下の2つの観点からご説明します。

- ① 水位計の配置水没の有無（水位計の設置高さとの関係）
- ② 水位計測の可否（水位計の計測限界との関係）

○ まず、1点目の**水位計の配置水没の有無**についてご説明します。人吉大橋に設置している危機管理型水位計の設置位置は、人吉大橋地点の計画堤防高より2m以上程度高い位置（危機管理型水位計設置高 TP.108.24m、計画堤防高 TP.105.97m）（図1）で、人吉大橋の高欄の基礎となる部分から下流側に向かって約1m突き出る形で設置しています。（写真1）

修正の考え方 [九州地方整備局]: 水位計の水没の有無について、写真・映像がないため、推測であることから、表現を適正化しました。

修正の考え方 [九州地方整備局]: 水位計の水没の有無について、写真・映像がないため、推測であることから、表現を適正化しました。

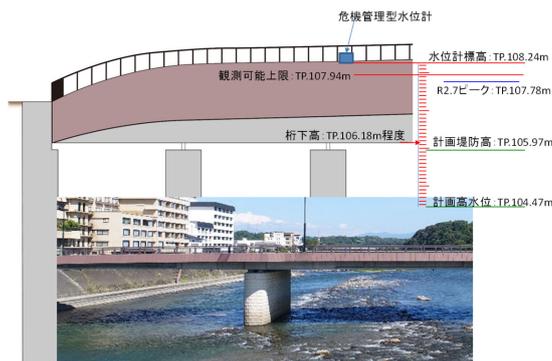


図1 人吉大橋側面図（イメージ図）



写真1 危機管理型水位計の設置写真

○ 一方、人吉大橋上流の痕跡水位は、人吉大橋の上流側の橋桁にあっている高さであることは確認しておりますが、危機管理型水位計の設置高以下の高さでした。**このことから、危機管理型水位計が水没している状況ではなかったこととなります。**（危機管理型水位計設置高 TP. 108.24m、上流側痕跡水位 TP. 107.94m）（図2）（写真2）

修正の考え方 [九州地方整備局]: 水位計の水没の有無について、写真・映像がないため、推測であることから、表現を適正化しました。

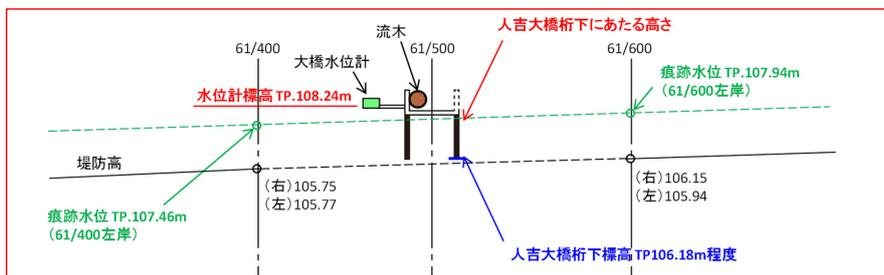
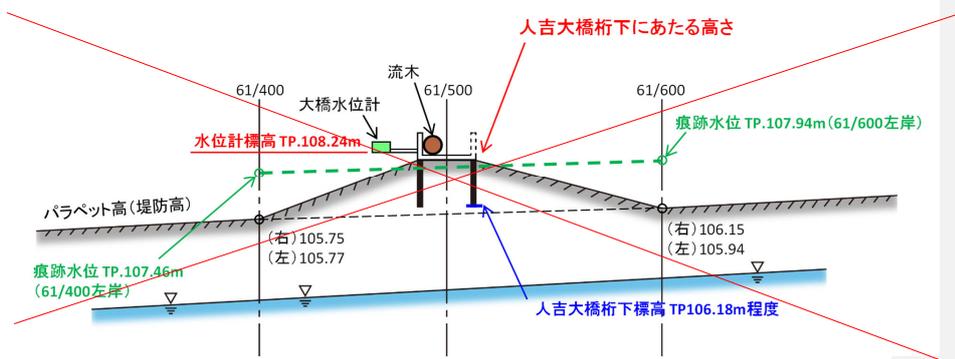


図2 人吉大橋の桁下高さと痕跡水位の関係

修正の考え方 [九州地方整備局]: 図を簡潔でわかりやすいものに変更しました。



写真2 出水時の状況 (R2. 7. 4 11:18 撮影)

修正の考え方 [九州地方整備局]: 参考となる写真の掲載箇所を変更しました。

○ 次に 2 点目の水位計測の可否についてご説明します。危機管理型水位計については、一定の水位に達した場合から観測が開始される仕組みとなっており、人吉大橋の水位計は TP.101.97m から観測を開始し、観測可能上限である TP.107.94m まで水位が観測することができます。（図 3）

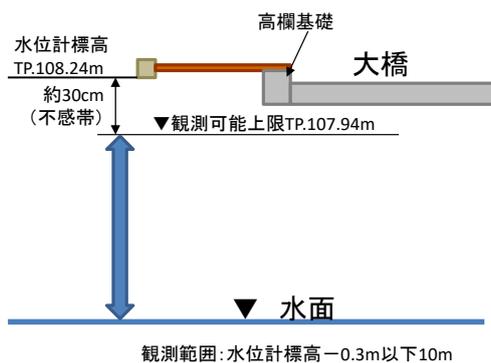


図 3 危機管理型水位計の観測可能範囲

- 人吉大橋の危機管理型水位計は、観測結果（図 5）の通り、連続的に計測をしています。また、令和 2 年 7 月豪雨時に危機管理型水位計で計測されたピーク水位については TP.107.78m で、観測可能上限水位以下でした。なお、この観測されたピーク水位は痕跡水位とも概ね一致しています。（図 4）

修正の考え方 [九州地方整備局]: 人吉大橋危機管理型水位計での水位観測状況について記載を追記しました。

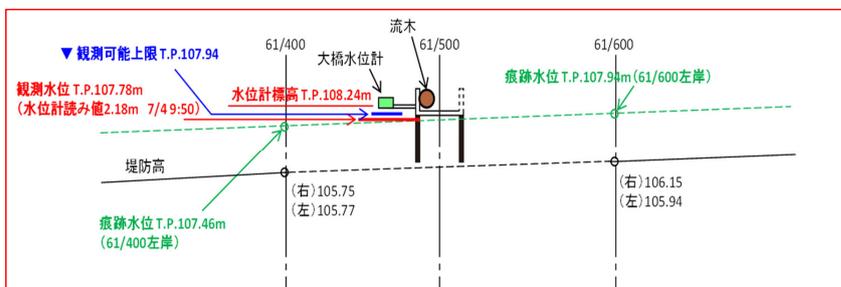
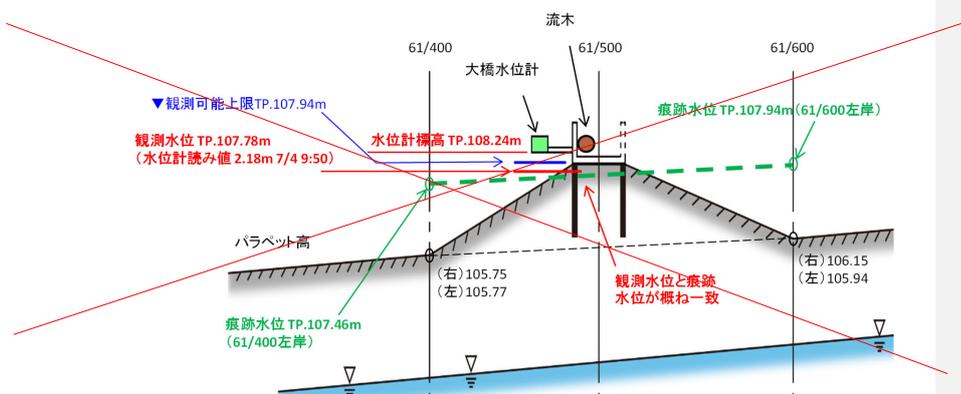


図 4 観測水位と痕跡水位の関係

修正の考え方 [九州地方整備局]: 図を簡潔でわかりやすいものに変更しました。

- ~~以上 2 点より、人吉大橋の危機管理型水位計については、令和 2 年 7 月豪雨時、水没することなく水位を計測できていたこととなります。~~

修正の考え方 [九州地方整備局]: 水位計の水没の有無について、写真・映像がないため、推測であることから、表現を適正化しました。

○ なお、危機管理型水位計の観測結果（図 5）に異常な挙動が見られず、機器に目立った外傷は**ありませんでした。なかった（写真 23）**ことから、**計測結果に問題は無いと考えています。**

修正の考え方 [九州地方整備局]: 事実関係に基づく記載のみに表現を訂正しました。

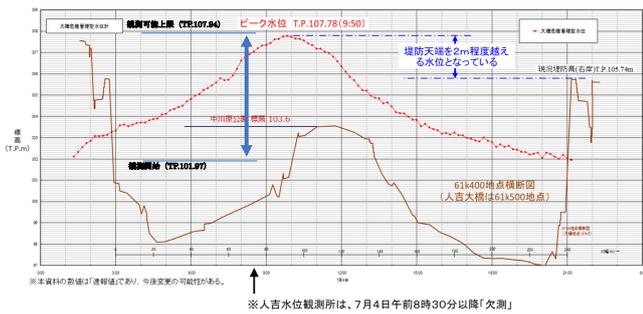


図 5 人吉大橋危機管理型水位計の観測水位



写真 23 出水直後の危機管理型水位計 (令和 2 年 7 月 14 日撮影)

修正の考え方 [九州地方整備局]: 撮影日を追記しました。

○ ~~なお、洪水流が橋梁の桁にあたることで、そのしぶき水が橋面を流れたことが確認されていますが、危機管理型水位計は下流側に張り出した構造であることから、その橋面を流れた水流の影響は受けていません。（写真 3）~~

修正の考え方 [九州地方整備局]: 水位計の水没の有無について、写真・映像がないため、推測であることから、表現を適正化しました。



写真 3 出水時の状況 (R2.7.4 11:18 撮影)

修正の考え方 [九州地方整備局]: 参考となる写真の掲載箇所を変更しました。